

クワガタ授業・鷺沼小3学年全体授業

木村修平

7月6日(火)10:30～ 3・4限『昆虫のはなし』
・日本と世界のカブトムシ、クワガタムシ
・鷺沼小の中にいる昆虫

講師：習志野クワガタセンター 木村修平

2004年7月6日習志野市立鷺沼小学校の3学年全体授業に「クワガタ先生」として講師をしてきました！私は年間に学校に出向く回数は相当な数ですが、学校に行くと毎回、必ずクラスに一人か二人くらいは「虫博士」がいるんですね、今でも(笑)。

自分のガキの頃を見ているようで、ちょっとウレシくなったりします。私の幼少時代には、学校の正規授業で専門家が昆虫の話をしてくれるなんて、ゼッタイあり得ませんでしたから、今の時代の虫博士達は、ちょっとうらやましいかななんて思いますね。

何せ30年も前ですから…あの頃の昆虫図鑑って、ほんとに、テキトーでしたからね。オオクワガタなんて「星はサクラの樹の洞で採れる」ですもん。ヒメオオクワガタなんて「高い山にいる」ですもん。ルリクワガタなんて「カミキリと見分けるのが難しい」ですもん。ツヤハダクワガタなんて、記載ないですもん。

今年はムシキングの大ブームもあり、授業での子どもたちの反応は上々。これを読んでいただいた全国のクワガタ好きの皆様、ぜひ「にわか先生」やってみませんか？大いなる自分の成長と、そして、新しい発見や感動が待っていますよ！

今、クワガタを飼育している私達には、次世代の子どもたちに伝えなければいけないことがあります。それは「自然の大切さ」と「生態系の保護」です。これは、私達の義務です。その入り口が「クワガタ飼育の正しい知識」を伝えることなのではないでしょうか？

私の講義内容を記載しますので、参考にして頂き、ぜひ実践してみてください。

学校への入り口はたくさんあります。PTA・教育委員会・市の児童教育課・社会福祉協会…あなたが本気なら、必ずドアは開きます。また、微力ながら私も協力は惜しみません。その気になった方がいらっしゃいましたら、遠慮なくご相談ください！

以下が昆虫授業(2～4年生対象)の私の考えた、いわゆる「アンチョコ」です。

1. どれが昆虫かな？

●カブトムシ・カマキリ・アゲハチョウ・クモ(クモ類)・ゴキブリ・アリ・ザリガニ(甲殻類(カニ・エビなどの仲間))・ゲジゲジ(節足動物(ムカデなどの仲間))・ハチ・ハエ・カ・ダンゴムシ(節足動物(ムカデなどの仲間))



●昆虫の特徴とは？

※まずは、前記のそれぞれについて「昆虫」か「昆虫じゃないか」を挙手してもらいます。昆虫ではないものには、近い括りの生物を教えます。全員が挙手することによって、昆虫に興味のない子の気もちらに回ることが出来ます。



2. 日本のクワガタ・習志野のクワガタ

●ノコ・コクワ・オオクワ・チビクワ・ミヤマ

※地元で棲息しているクワガタから少しずつ範囲を広げ、県、本州、日本と広がります。また、生息地域の限られている種に関して「なぜ習志野にはいないのか」その理由を考えさせます。

3. 世界のクワガタ・カブト

●成虫展示

●クワガタのいる国・いない国

※世界のクワガタ・カブトを実際に間近で観察して、種での違いや国産種との違いを考えます。また、なぜハワイにクワガタがいないのか？とか、世界の

どの地域に多いのか？などを話します。ムシキングのおかげで、彼らもかなり外産の知識は豊富ですが、ギラファが最強と思っているあたりはちょっと…。

4. クワガタ・カブトの一生

●サナギ、幼虫展示

※卵～成虫まで、カブト・クワガタのライフサイクルを説明します。前蛹・サナギ等は実際に見てもらいます(死亡覚悟！教育のためだからね、サナギ君、ごめん…)。



5. 鷺沼小の昆虫たち

●どんな場所に、どんな虫がいるのかな？

●どんな木に、どんな虫がくるとかな？

※自分の小学校にどんな昆虫がいるのかを勉強します。校舎の裏、体育館の下、草むら…また、学校内のどの植物にどの昆虫がいるのかを教えます。当日、少し早く学校に行き、学校内の昆虫を採集しておき、実際に実物を校内地図付きで説明します。アゲハとサンショウウオや、イチジクとキボシカミキリなどは比較的どの学校でも見られます。

6. どうして習志野には、クワガタがいないのかな？

●昔はいたのに、今はどこにいったの？

※環境問題について子どもと意見交換して「自然を大事にする気持ち」を教えます。

7. クワガタのたたかい

●どうしてたたかうのかな？

※ヒラタを組ませて、なぜ戦うのかを考え、また、混合飼育の危険性も教えます。

8. クワガタ・カブトを捕まえてきたら～クワガタ・カブトを飼うときの注意～

●ちがう種をまぜない

●外国の虫を野外にはなさない

●殺虫剤をつかわない

●産卵させてみよう(マット・材・ゼリー)

●幼虫飼育

●サナギ～成虫に 累代飼育

※成虫飼育と累代飼育について、また、これまでのすべての補足的な部分を飼育全般について話をします。特に飼育上の注意として、殺虫剤の使用や異種混合飼育、放虫の危険性について解説します。

9. 質疑応答

※最後に生徒からの質問。それに加え、先生からの質問も受けます。

いかがでしたか？どうですか？クワガタを好きな皆様ならだれでも出来ますでしょう？不安であれば、校内採集の部分はカットしてもいいと思います。

今、私達が行動しなければ、数十年後には、大変なことになってるかもしれません。もう、親がクヌギを知らない世代なんです。環境破壊も、放虫も、在来種の危機も、確実に増えています。私達にできることはわずかで、それが在来種のクワガタを守るチカラにどの程度なるのかはわかりません。

ただ、このまま放っておくよりは、今、昆虫に関わっている私達ができる範囲で努力をして、クワガタとその環境を、少しでも守りたいではないですか！

当日の持参物

- ・国産カブト
- ・国産オオ
- ・国産ノコギリ
- ・国産コクワ
- ・チビクワガタ
- ・コーカサス
- ・ヘラクレス
- ・リッキー幼虫
- ・ソウカブト
- ・ブケットフタマタ
- ・ニジイロ
- ・ギラファ
- ・スマトラH (大(8cmに大きめ×4・戦い用・材も)
- ・サナギ
- ・幼虫の見える画系ピン
- ・校内採集昆虫用プリンカップ
- ・カメラ

